

次期人口ビジョンの策定について



- 1 次期人口ビジョンの概要
- 2 将来人口推計（国立社会保障・人口問題研究所推計準拠）
- 3 本市独自の将来人口推計のシミュレーション
- 4 人口の将来展望について

1 次期人口ビジョンの概要

○ 人口ビジョン策定の目的

現在の人口の動向を分析するとともに、今後の中長期的な人口推計及び将来展望を示すことにより、本市の人口に関する現状や課題等を市民と共有し、人口減少対策に関する各種施策の検討につなげるために策定するもの。

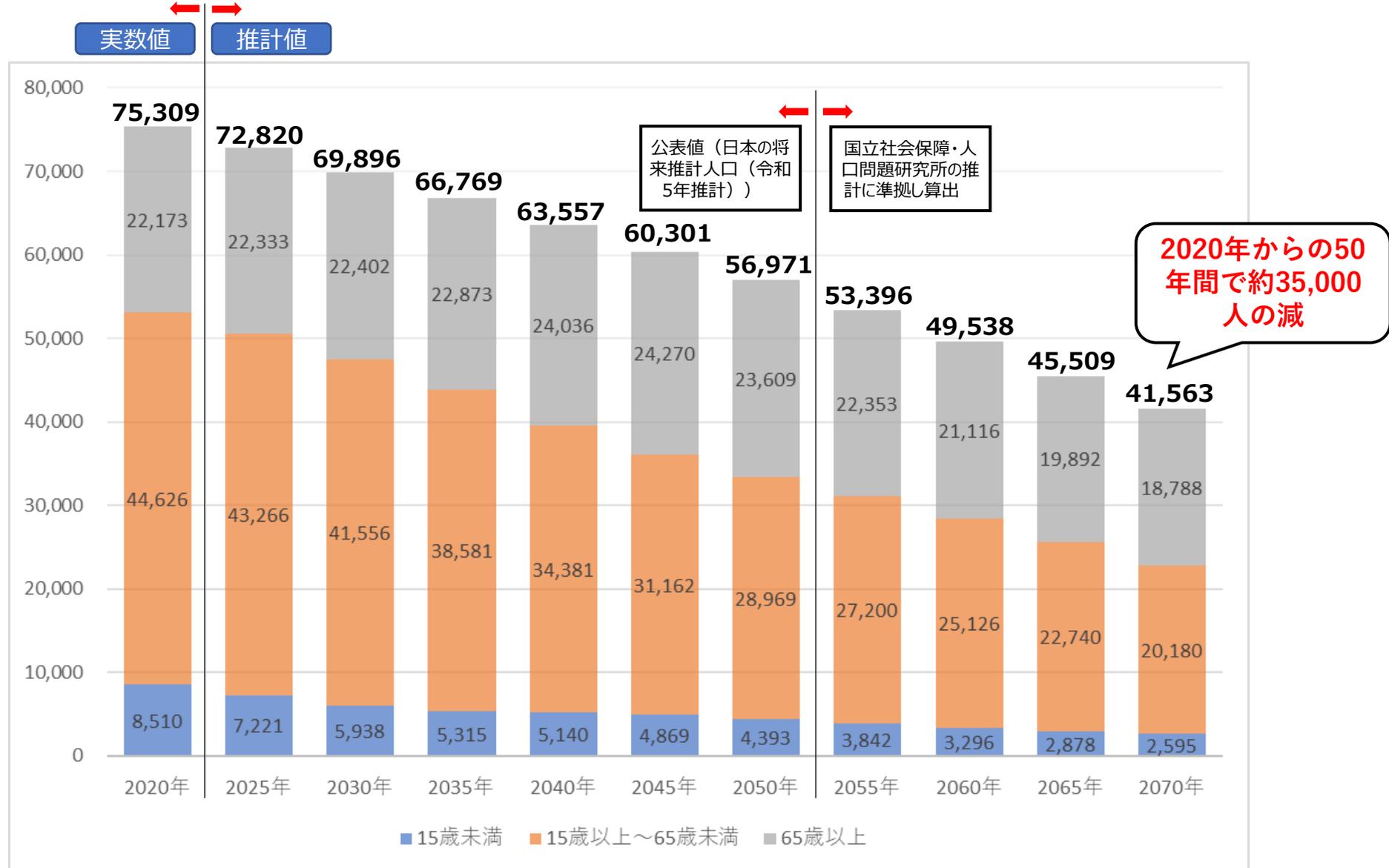
○ 名称

(仮称) 第3期館林市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

○ 推計期間

2070年（令和52年）まで

2 将来人口推計（国立社会保障・人口問題研究所推計準拠）



3 本市独自の将来人口推計のシミュレーション (1/2)

今後の中長期的な人口推計及び将来展望の検討にあたり、いくつかのパターンでの**本市独自のシミュレーション**を行いました。

シミュレーション①

合計特殊出生率大幅改善（国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」に準拠）

- ・合計特殊出生率は国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」に準拠し、**2030年に1.8、2040年に2.07を実現し、その後2070年まで2.07を維持**
- ・純移動率（※1）は社人研（※2）に準拠

シミュレーション②

合計特殊出生率改善（本市において過去10年間で最も高かった合計特殊出生率の設定）

- ・合計特殊出生率は**2030年に、本市において過去10年間で最も高かった数値である1.42を実現し、その後2070年まで1.42を維持**（現在は0.95※2023年数値）
- ・純移動率は社人研に準拠

シミュレーション③

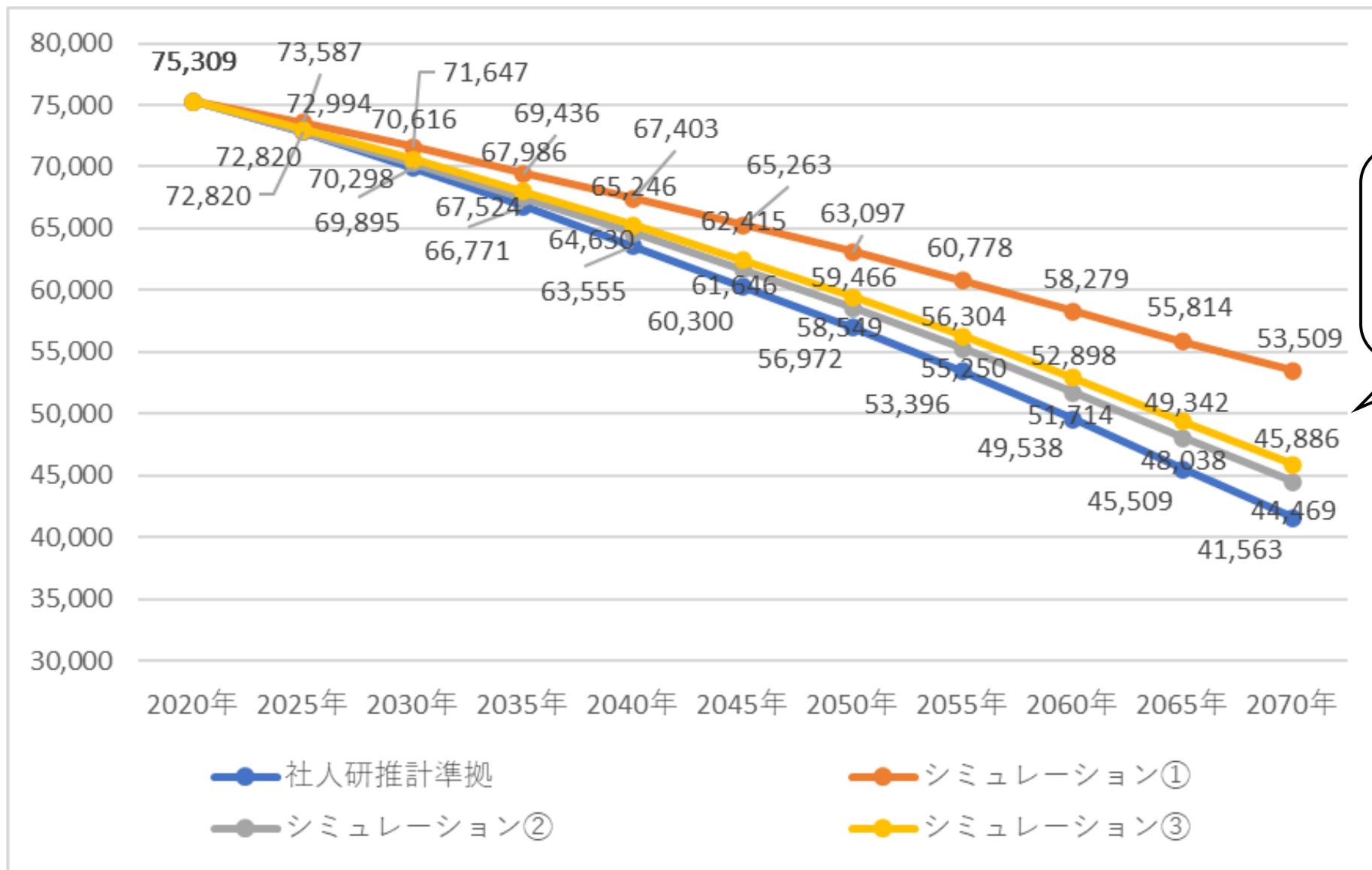
合計特殊出生率改善（本市において過去10年間で最も高かった合計特殊出生率の設定） + **純移動率向上**

- ・合計特殊出生率は**2030年に、本市において過去10年間で最も高かった数値である1.42を実現し、その後2070年まで1.42を維持**
- ・純移動率を社人研数値から**すべての世代において10%増加**

（※1）純移動率…移動による人口の変化率（転入率－転出率）

（※2）社人研…国立社会保障・人口問題研究所の略称

3 本市独自の将来人口推計のシミュレーション (2/2)



いずれも社人研推計値と大きな差が見られており、人口減少対策の必要性が示されている

4 人口の将来展望について

社人研推計に準拠した推計では、2070年には人口41,563人となると推計されていますが、本市では、「館林市第6次総合計画後期基本計画」において、重点テーマとして「人口減少対策」を掲げており、「総合戦略」等に基づく様々な施策を展開することにより、**2070年に人口45,000人を確保し**、将来にわたって持続可能な社会形成を目指すこととします。

【人口の将来展望】

2070年（令和52年）に人口45,000人の確保を目指します。

【参考】

シミュレーション③（2030年に合計特殊出生率1.42を実現し、その後2070年まで1.42を維持。純移動率を社人研数値からすべての世代において10%増加）によると、2070年において45,886人の人口が確保できる見込みである。